

- ITU-Rでは、HDR-TVの技術パラメータを規定した新勧告を策定するべく検討中。
- ITU-RでのHDRに関する議論は、2012年4月に米国(ドルビー)からの規格の提案により開始。その後、蘭フィリップス(2013年10月)、英BBC(2014年3月)、日本(2014年11月)も提案を行い、2015年2月の会合でITU-R勧告草案の作業文書を策定。
- 作業文書では、HDRの非線形伝達関数を2方式(Hybrid Log-Gamma方式、Perceptual Quantizer方式)に集約。
  - Hybrid Log-Gamma :英BBC・日本NHK提案(輝度値を相対値として扱う)
  - Perceptual Quantizer :米ドルビー提案、蘭フィリップス提案(ディスプレイの輝度の絶対値を映像信号値と関連付ける)
- 2015年7月の会合では、これら2方式、3提案の統合について議論され、新勧告草案(ITU-R Rec.BT.[HDR-TV])を策定。しかし、3提案の併記が認められなかったことから、来年1月～2月の次回会合でも引き続き検討を実施。
- なお、Hybrid Log-Gamma方式である英BBC・日本NHK/民放連の提案内容は、本年7月3日にARIB規格(ARIB STD-B67(スタジオ規格))として策定済。